



NO.14 2025.9.3

自然との関わり・生命尊重  
思考力の芽生え 編

## おたまじゃくしを育てたよ♡

りんご組でのおたまじゃくしの飼育。その中であった出来事をまとめてみました。初めての集団生活の中で、小さな命をみんなで見守って、難しい事もみんなで少し考えた記録です。

かえるの歌を歌っていて・・・「みんな、かえるの赤ちゃんって見た事ある？」と問いかけると、子どもたちは「???」という顔。おたまじゃくしを飼う事にしました。子どもたちは大喜びで、餌がやりたくて仕方がない様子。餌やり当番を始める事にしました。

メダカとおたまじゃくし、一緒に餌をあげているのですが・・・

メダカ



おたまじゃくし



こっち(メダカ)は(すぐ餌を)食べるのに、こっち(おたまじゃくし)は食べない！



ずっと見ている

いつ食べるんやろう？



食べない～！

おたまじゃくしが沈んでるから  
(浮いている餌を)食べない！

じゃあ、沈む餌をあげて  
みよう！おたまじゃくし  
の餌は鯉節に決定！



おたまじゃくしの餌は鯉節に決まったけれど・・・

鯉節をやりすぎたのか最後の1匹が死んでしまいました💧

みんなでお墓を作っています。最後の餌をみんながあげたいので「ちょうだい！」と沢山の手！

この後、担任が「鯉節を餌にするのはやめようか(水が汚れたのでは?)」と言いました。すると・・・「やっぱり鯉節がいい」「鯉節ちょっとだけ、あげよう！」という意見が出てみんなが賛成しました。



上西先生に「おたまじゃくし  
もらえませんか？」と交渉し  
ている様子。



新しいおたまじゃく  
しがもらえて、みん  
なでのぞき込んでい  
ます。「可愛いなあ」



おたまじゃくしの手を見て  
いたルーベで、カブトムシ  
も見えています。

夏休みに入り、子どもたちは観察ができないので、日々写真を撮っていると、7月末にカエルになりました！動画も撮ったので、子どもたちに見せると大喜び！カエルになった姿を直接見せてあげられなかったのは残念でしたが、自分達が可愛がったおたまじゃくしがカエルになった喜びを感じる事ができました。

死んでしまったおたまじゃくしは可哀想で、子どもたちも心を痛めていましたが、命の大切さを教えてもらいました。3歳児が、みんなで色々と考えながらおたまじゃくしを育てた記録でした。